



令和4年度修了式（卒園証書授与式）

いよいよ明日は修了式です。少しずつ色々なところで準備は進んでいましたが、本日午後から最終準備を行います。（この園だよりは16日に書いています）

今週は、特に卒園児さんのテンションが高く、怪我しないように病気しないようにとひやひやしていました。子ども心に、一つの区切りが近づいてきていると感じているのでしょうか。お友だちや先生たちとお別れという実感はなくても、何となく感じる寂しさを味わっているのかもしれませんが。

在園児のお友だちとは、昨日のお別れ会でお別れしています。修了式に参加しませんので在園児さんもいるか組さんがいなくなるという現実、きっと来週にならないとわからないかもしれません。

卒園児さんのためにピカピカに幼稚園を掃除して、準備万端に明日はみんなをお迎えします。幼稚園を清々しい気持ちで旅立ってもらいたいと思います。式辞を準備しながら、子ども達へと保護者の皆様への思いを切々と感じているところです。明日は、お世話になります。

そして、お子様のご卒園おめでとうございます。

今年度最後の後援会総会と懇談会を8日に行いました。多くの保護者の皆様に参加していただきありがとうございました。総会の時にご紹介したお話を少しここにのせておきます。

AIにおける人間教育の終焉

2045年、AIが人類の知性を上回り、ついに私たちは生物の限界を超えて技術的特異点へと到達すると未来学者レイ・カーツワイル氏は述べている。人間以上に賢くなった人工知能が、自らを改良して進化し、やがては人間の役割にとって代わるという。こうした特異点を超えると、AIは意識や感情を持つようになる。～かつて、AIが棋士に勝てない時に、人間にはコンピュータにない発想力や想像力があると言われてきた。それが、数年で逆転した。驚異的な加速で進化するAIが感情や意思を持つことはさけて通れないし、今後何が人間の領域で何がAIの領域なのか、その境界線や問題点もわからないほど、私たちにAIが深く入り込んでいこう。～このようなAIの進化の中、子ども達につけていく力として、ICTを「創造性」と「協働性」を生み出す「メディア」として活用しつつ、他方でAIの世界と切り離された人類の経験を出るだけ多く与えていくべきである。

AIによる人間教育の終焉 ～2045年問題に向けて取るべき二つのアプローチより引用
神戸女子大学教授 山内紀幸 監修

安心安全メールについて（株式会社テクノミックス）

安心安全メールは、園からの突発的なお知らせなどにおいて、保護者・教職員等に一斉に配信するサービスです。

協賛事業所のご協力により、園や保護者に費用の負担なく利用させていただいております。楠幼稚園に協賛していただいている事業所は、

「ゆめタウン 光の森」様 「熊本日日新聞社 龍田販売センター」様 です。

年1~2回程度 協賛事業所へのご挨拶（お手紙）を園からもさせていただいております。保護者の皆様にご紹介します。